内谷市長の ゆるやかコラム

「これからの時代を生きる」

3月は寒暖の差が激しい日々が続きましたが、少しずつ桜の咲く大変良い季節となってきました。入園や入学、就職など新たなスタートを切られる方々にエールを送りたいと思います。

これからの時代は、デジタル技術の発展などにより、今までの職業感が大きく変わると言われています。社会に出た時に求められるのは、課題を見つけ、どう解決するかを考え実践する能力であり、自分で考えて行動できる人材です。

長井市では、このような時代にこどもたちが対応できるようにと、平成29年から、小学生から高校生までを対象とした「起業体験ワークショップ」を開催しています。このワークショップは、仲間と協力しながら会社を創る疑似体験を通し、失敗を恐れず挑戦する力を養うものです。また今年2月には、6年間続けてきた「長井ビジネスチャレンジコンテスト」をリニューアルした「長井DXコンテスト」を開催しました。このコンテストは、デジタル技術を活用した地域課題解決アイデアの創出支援とアイデアを生み出せる人材を育成することを目的としたものです。そのほか、タスの中に起業・創業する人をサポートする機能を備えるなど、市では、人材育成と、挑戦する人を応援する仕組みを整えています。ぜひご活用いただき、沢山チャレンジしていただきたいと思います。

さて、市制施行70周年を迎えるにあたり、次の時代につながるような、皆様の記憶に残る事業を検討しております。市民の誰もが幸せを感じながら健やかに暮らしていける長井市を目指し、市役所一丸となって頑張りますので、皆様も各種記念事業に参加いただき、共に新しい未来を創ってまいりましょう。

▲起業体験型ワークショップの様子